

平成近起請文

平成近立申起請文事

右件元者、自東寺被仰下御文をハ御

教書と不可云、御文と可云と成近申たり

と其御沙汰候云々、此条返々歎入候、さ様

事一切不申候、自今以後も東寺御事

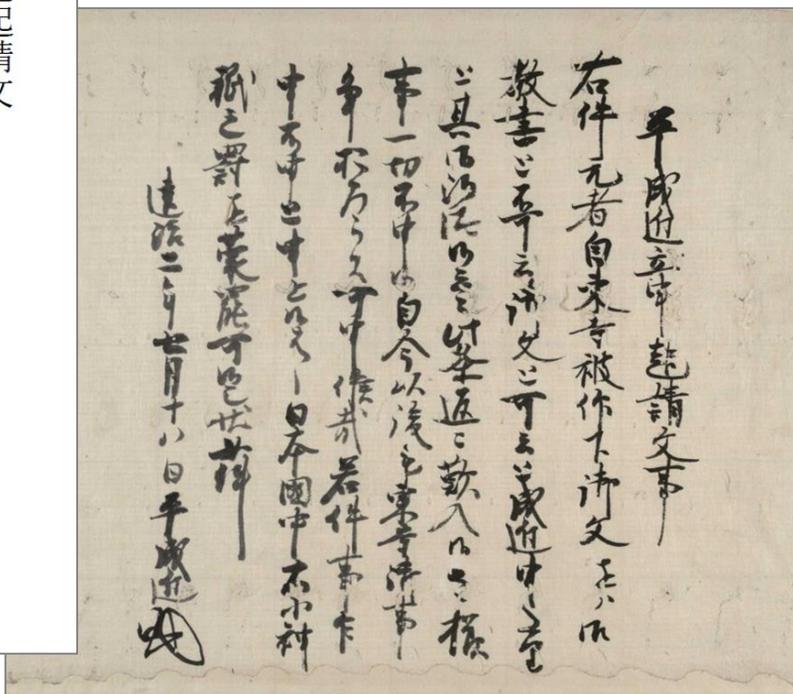
争おるかに可申候哉、若件事、乍

申不申と申上候は、日本国中大小神

祇之罰を蒙罷可候之状如件、

(東寺百合文書 は函一九号)

建治二年七月十八日 平成近(花押)



# 資料に親しむ会

## 活字になっている 中世の古文書を読もう！

古文書の文章は、文学作品にくらべると「地味」な感じを持たれがちですが、その当時もっとも広く使われた書き言葉です。

今回は活字になっている中世の古文書を使って、くずし字の読解はパス、「鎌倉時代・室町時代の人が書いた文章の意味をとる」ことにチャレンジしてみましょう！

**日時** 令和 7 年 5 月 21 日 (水)  
14:30 ~ 15:30 ※14:00 開場

**会場** 京都学・歴彩館1階 小ホール

**定員** 70名 (当日受付)

令和 7 年度  
第 1 回

講師

京都府立京都学・歴彩館  
資料課  
岡本 隆明

小ホール

